

参 加 者 紹 介

報告者・討論者（発表順）

関 志雄（かん しゆう）

株式会社野村資本市場研究所シニアフェロー。1957年香港生まれ。香港中文大学卒、1986年東京大学大学院博士課程修了、経済学博士。香港上海銀行、野村総合研究所、経済産業研究所を経て、2004年4月より現職。著書に『円圏の経済学』（1996年度アジア・太平洋賞）、『円と元から見るアジア通貨危機』、『最新中国経済入門』、『日本人のための中国経済再入門』、『人民元切り上げ論争』（関志雄／中国社会科学院世界経済政治研究所編）『共存共栄の日中経済』、『中国経済革命最終章』、『中国経済のジレンマ』などがある。「中国経済新論」（<http://www.rieti.go.jp/users/china-tr/jp/index.htm>）というホームページを主宰し、日本の読者向けに発信している。

松田 康博（まつだ やすひろ）

防衛省防衛研究所研究部第6研究室主任研究官。1992年防衛研究所入所。専門は東アジア論、中国及び台湾の政治外交史、中台関係論。1988年麗澤大学外国語学部中国語学科卒業。1990年東京外国語大学大学院地域研究科修士課程修了。1997年慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻後期博士課程単位取得退学、2003年博士（法学）。主要著作に、『5分野から読み解く現代中国』（共編著）、『ニクソン訪中と冷戦構造の変容』（共著）、『中国の統治能力』（共著）、『台湾における一党独裁体制の成立』（単著）などがある。

高木 誠一郎（たかぎ せいいちろう）

青山学院大学国際政治経済学部教授。1965年東京大学教養学部卒業。スタンフォード大学大学院政治学部修士課程修了。1969年スタンフォード大学研究助手。1977年同大学院で政治学博士号を取得。その後、埼玉大学大学院政策科学研究科専任講師、同助教授、同教授を経て、1997年政策研究大学院大学教授。1999年より防衛庁（現防衛省）防衛研究所第2研究部長を歴任後、2003年より現職。専門は東アジアの国際関係、中国研究。著書に『脱冷戦期の中国外交とアジア・太平洋』（日本国際問題研究所、2000年）（編著）、『日米中安全保障協力を目指して』（勁草書房、1999年）（共著）などがある。

バーナード・D・コール

ナショナル・ウォー・カレッジ（米国防大学）国際史教授。専門は、米中関係、中国軍、アジアのエネルギー問題。水上戦将校として、30年間米海軍に勤務（すべて太平洋）。ノックス級フリゲート艦・ラスバーン（USS *Rathburne*, FF 1057）及び第35駆逐隊を指揮。また、ベトナムの第3海兵師団で艦砲射撃連絡将校として、第7艦隊隷下タスクフォース CTF 70/77 で水上作戦将校として、太平洋艦隊司令官の計画将校として、海軍遠征戦作戦部長特別顧問として勤務。著書として、*Gunboats and Marines: The U.S. Navy in China* (University of Delaware Press, 1982)、*The Great Wall at Sea: China's Navy Enters the 21st Century* (Naval Institute Press, 2001)、*Oil for the Lamps of China: Beijing's 21st Century Search for Energy* (NDU Press, 2003)、*Taiwan's Security: History and Prospects* (Routledge, 2006)等がある。また、現在、東アジアのエネルギー安全保障に関する本を執筆中。ノース・カリフォルニア大学で学士（史学）、ワシントン大学で行政修士（国家安全保障問題）、オーバーン大学で博士（史学）を取得。

M・テイラー・フラベル

マサチューセッツ工科大学政治学助教授。同大学安全保障研究プログラムメンバー。専門は、国際安全保障、中国、東アジアを中心とした国際関係。*International Security*, *Foreign Affairs*, *Armed Forces & Society*, *The China Quarterly*, *Current History*, *Asian Survey*などに論文を発表している。最近の研究としては、中国がいかにして領土問題を解決するかを協力とエスカレーションの時期を比較しつつ研究。ミドルベリー大学及びスタンフォード大学卒。スタンフォード大学において、2003年博士号を取得。ハーバード大学オーリン戦略研究所博士研究員及びスタンフォード大学国際安全保障協力センター研究員。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス及びオックスフォード大学においても大学院の学位を持ち、オックスフォード大学においては、ローズ奨学生。

マイケル・スウェイン

カーネギー国際平和財団上席研究員。ランド研究所アジア・太平洋政策センターの国際問題研究上席政治学者及び研究部長を歴任。専攻は、中国の安全保障と対外政策、米中関係、東アジアの国際関係。米国における中国安全保障問題研究の第一任者であり、中国の安全保障政策に関する10本以上の研究論文がある。近著として、*Managing Sino-American Crises: Case Studies and Analysis* (Carnegie Endowment for International Peace, 2006)がある。1989年ランド研究所着任以前は、民間企業のコンサルタント、カリフォルニア大学バークレー校中国研究センターの博士研究員、ハーバード大学の研

究員を歴任。ジョージ・ワシントン大学で学士取得後、ハーバード大学において博士を取得。

アーロン・L・フリードバーグ

プリンストン大学政治学・国際関係論教授。1987年プリンストン大学着任以来、国際研究センター部長代理、ウッドロー・ウィルソン・スクール国際安全保障研究プログラム部長を歴任。2003年から2005年まで、副大統領室次席補佐官として従事。スミソニアン研究所ウッドロー・ウィルソン国際センター、ノーベル研究所（ノルウェー）及びハーバード大学国際問題センターの元特別研究員。著書として、*The Weary Titan, 1895-1905: Britain and the Experience of Relative Decline* (Princeton University Press, 2006)、*In the Shadow of the Garrison State: America's Anti-Statism and Its Cold War Grand Strategy* (Princeton University Press, 2000)の2冊がある。他の研究分野として、国際関係、東アジアの国際安全保障、国外政策、国防政策。ハーバード大学で博士号取得。

議 長

小川 伸一（おがわ しんいち）

防衛省防衛研究所研究部長。専門は、軍備管理・軍縮、核戦略、東アジアの安全保障。金沢大学卒業。1974年金沢大学大学院修士課程修了。1977年カールトン大学（カナダ）大学院修士課程修了。1988年イエール大学大学院博士課程修了（博士）。1978年に防衛研究所に入所後、2004年より現職。著書に、『「核」軍備管理・軍縮のゆくえ』（芦書房、1996年）等がある。

金子 譲（かねこ ゆずる）

防衛省防衛研究所研究部上席研究官。専門は、国際政治学、米欧安全保障、軍備管理・軍縮。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1979年一橋大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）。1979年防衛研究所に入所後、2003年より現職。著書に、『「日欧」新時代の選択 - なぜヨーロッパと手を結ぶのか』（三田出版会、1996年）（共著）、「軍備管理・軍縮 - 欧州の経験と教訓」『防衛研究』第1巻第2号（1995年4月）等がある。

* 肩書きはシンポジウム開催当時の現職を用いた。